

Eastspring Asia Now

Vol.19 来年の経済成長に自信; インドネシア財務相



2018年は投資が上向けば、予想成長率を上回る可能性も

▶ インドネシアのスリ・ムルヤニ財務大臣は、10月27日に行われたジャカルタでのインタビューで、来年の経済成長に自信を示しました。10月25日に国会で可決された来年度予算案における2018年のGDP(国内総生産)成長率予想は前年比+5.4%と、2013年以来の高成長が見込まれています。スリ財務大臣は「+5.4%の経済成長は輸出の伸びなどによるもので、加えて投資が上向けば、大きく上振れすると考えている」と述べました。

▶ インドネシア中央銀行は2016年以降、景気刺激策として政策金利を8回にわたり引き下げていますが、金融機関の貸出が伸びないことに対してスリ大臣は、「利下げの効果は12-18カ月のタイムラグがあるので、来年前半から半ばにかけて現れてくると思う」と述べました。また、同氏は税収増を目的とする様々な政策を行っており、税収の対GDP比を11%から2019年までに16%に引き上げる目標を掲げています。

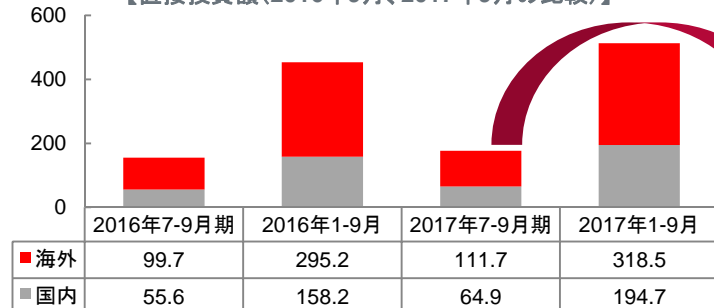
【スリ財務大臣】



(写真提供: アフロ)

▶ 一方で、「米国の法人税率引下げなど主要国の内向的な政策は、インドネシア経済に逆風となる」と警告もしました。そしてインタビューの最後には「単に財政赤字を削減するのではなく、高い経済成長を達成する正しい政策を行うことが大切」であり、「高成長はより多くの雇用の創出と格差是正をもたらすものと信じている」と述べました。

(兆ルピア) 【直接投資額(2016年9月、2017年9月の比較)】



2017年第3四半期(7-9月期)の直接投資額の合計は、176.6兆ルピア(約1.48兆円*)と対前年同期比で+13.7%の伸びとなっています。

出所: インドネシア投資調整庁のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。*100ルピア=0.84円で換算。

海外知名度の高いスリ大臣

▶ 10月12日に米国ワシントンの国際通貨基金(IMF)本部で開催された第72回IMF-世界銀行年次総会における討論会で、スリ大臣はインドネシアの財政政策の実施状況について説明しました。その際にIMFのトップであるクリスティーヌ・ラガルド専務理事から、同氏の租税回避防止と汚職撲滅の取り組みについて賛辞がありました。

▶ スリ大臣は、2010年から16年まで、世界銀行の最高執行責任者(COO)兼専務理事を務めていました。2016年7月のジョコ大統領の第2次内閣改造で入閣しています。

IMFと世界銀行

IMFと世界銀行は、国連システムの中の姉妹機関の位置づけです。両者は加盟国の生活水準の向上という共通の目標を掲げています。その目標達成へ向けたアプローチは相互補完的なものです。IMFがマクロ経済の課題に注力する一方で、世界銀行は長期的な経済開発と貧困削減に主眼を置いています。

(IMFのホームページより)

出所: 各種報道、ブルームバーグを基にイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

